



みよた

みんなと仲よくする子ども
よく考え、ともに学ぶ子ども
たくましい子ども

<http://www2.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=0710038> 文責 齋藤 和代

(ホームページからも「御代田小学校だより」がご覧いただけます。)

1 学期を振り返ると

もうすぐ1学期が終了し、夏休みが始まります。全校児童に、学校の教育目標について自分で評価してもらいました。



【教育目標】

㊦ みんなと仲よくする子ども

- (み) 言葉づかい・・・あいさつや言葉づかいが、その場に応じて正しくできる
- (み) 思いやり・・・友だちや異学年児童を思いやり、仲よく活動できる
- (み) 判断力・・・善悪の判断をし、行動できる
- (み) 協力・・・良さを認め合い、協力して行動できる

㊧ よく考え共に学ぶ子ども

- (よ) 意欲・成就感・・・自主的に学習を進めることができる
- (よ) 表現・・・自分の思いや考えをはっきりと伝えることができる
- (よ) 思考・判断・・・よく考え、話し合い、良い方法を見つけることができる

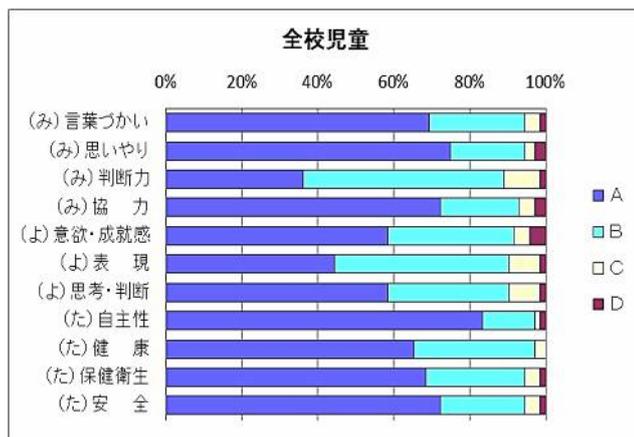
㊨ たくましい子ども

- (た) 自主性・・・役割に責任を持って、進んで仕事ができる
- (た) 健康・・・目標を持ち、励まし合って運動できる
- (た) 保健・衛生・・・身の回りを清潔にして、病気などの予防ができる
- (た) 安全・・・きまりを守り、安全に遊んだり運動したりできる

※ 4段階で評価してもらったところ下のようになりました。

A：よくできた B：だいたいできた C：あまりできなかった D：できなかった

全体	重点実践事項	A	B	C	D
み	(み)言葉づかい	50	18	3	1
	(み)思いやり	54	14	2	2
	(み)判断力	26	38	7	1
	(み)協力	52	15	3	2
よ	(よ)意欲・成就感	42	24	3	3
	(よ)表現	32	33	6	1
	(よ)思考・判断	42	23	6	1
た	(た)自主性	60	10	1	1
	(た)健康	47	23	2	0
	(た)保健衛生	50	19	3	1
	(た)安全	52	16	3	1



全体的に見ると、ども項目でも「よくできた」または「だいたいできた」という児童が多く、1学期の学校生活について満足感や自己肯定感を感じることができているようです。昨年度と比較しても、A・Bの割合は増えているようです。

割合は少ないのですが、「あまりできなかった」や「できなかった」と感じている子どもたちに寄り添うことは、今後の課題です。

項目別にみると、進んで係活動や委員会活動でがんばったことや、お客さんが来るたびに褒められているあいさつや言葉づかいについて、自分たちでも満足感を感じていることが伺えます。また、「思いやり」や「協力」項目は、みよた家族班でのほのぼのとした活動や学校行事での満足感が高かったのではないかと思います。



反対に、きちんと善悪を判断して行動することと、学習面で自分の思いや考えをはっきりと伝えることにはまだ苦手意識があるようです。学校生活や行事などを通して子どもたちに考える場面を設定したり、今後の授業を改善したりするなどして、向上させていきたいところです。



さらに、上学年と下学年に分けて見えます。



すぐに気付く違いは、上学年になると自己評価が低くなることです。詳しく学年ごとに見ると、そうでない所もありますが、全体的にこのような傾向があります。

自分に厳しくなるということが多分にあるとは思いますが、学校の中心となって活動することにより、満足感や成就感が得られるようにしたり、授業の中で、「できた」という嬉しさが感じられるように努力したりしていきたいと思います。

